

平成 14 年 4 月 19 日

4 月 23 日は「子ども読書の日」

子どもたちと本をつなぐ・・・各図書館で記念事業開催

豊島区立中央図書館（東池袋 5-39-18 佐藤 正俊館長）では、来る 4 月 23 日の「子ども読書の日」に向け、子どもの読書活動の普及啓発を図るため、区立図書館 8 館各館で、今週末を中心におはなし会や映画会等を開催する。

「子ども読書の日」は、昨年 12 月に公布・施行された「子どもの読書活動推進法」に基づき、「国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める」（同法第 10 条）ことを目的に、ユネスコが定めた「世界本の日」と同日の 4 月 23 日に設けられた。また同推進法は、読書を通じて子どもたちの豊かな成長を育むための活動を、国や自治体の責務と位置付けている。こうしたことから、今回の記念事業は、「子ども読書の日」を広く知ってもらい、また子どもと本をつなぐための図書館活動をより推進していくきっかけにしようと、担当職員たちの発案により企画された。

豊島区には 8 つの区立図書館があり、各館全てに児童図書コーナーを設置、児童担当職員を配置して子どもたち向けの様々なサービスを実施している。そのひとつが、各館で毎週行っている絵本の読み聞かせを主体とする「おはなし会」。子どもの本離れが言われて久しいが、小さな子どもたちにとって初めての本との出会いはまず目と耳から。子どもたちの豊かな感性を育むうえで、幼いころから本に親しむことが大きな影響を与えられ、親が子どもに絵本を読み聞かせる「ブックスタート」活動が今注目を集めている。図書館では、そうした「読み聞かせ」活動を長年にわたって積みあげてきている。そのノウハウを活かし、読み聞かせに向く幼児向けブックリストを作成し、保健所の 1 歳半健診時に配布したり、また昨年度には、保健所の出張育児相談に図書館職員が参加し、母親たち向けに読み聞かせの指導・案内を試行的に行うなど取組みを重ねてきた。今年度はさらに、6 ヶ月健診時にもブックリストを配布し、より広く読書活動の普及を図っていく予定である。

今回の「子ども読書の日」記念事業は、こうした日常的な読書普及活動の延長に位置付けられるものだが、毎週開催している「おはなし会」のスペシャルバージョンとして、各館それぞれの担当者がプログラムに趣向を凝らしている。「ひとりでも多くの子どもたちと本とをつなぐきっかけになれば・・・」と図書館では期待している。

【各館開催案内】

- ① 中央図書館 「おはなしばんざいスペシャル」／4 月 20 日（土）午後 3 時～
- ② 駒込図書館 「おはなしのはこ」／4 月 20 日（土）午後 3 時～
- ③ 巢鴨図書館 「ほんのじかんスペシャル」／4 月 24 日（水）午後 3 時～
- ④ 上池袋図書館 「さくらんぼおはなしかい」／4 月 24 日（水）午後 3 時～
- ⑤ 池袋図書館 「おはなしたんぼぼスペシャル」／4 月 20 日（土）午後 2 時～
- ⑥ 雑司が谷図書館 「こどもムーブススペシャル」／4 月 20 日（土）午後 3 時～
- ⑦ 目白図書館 「あいうえおはなし会」／4 月 17 日（水）午後 3 時～（開催済み）
- ⑧ 千早図書館 「春のおはなし会スペシャル」／4 月 24 日（水）午前 10 時 30 分～

詳細：中央図書館長